

学位論文等評価基準

学院	コース等	修士論文 / プロジェクトレポート(専門職学位課程) 審査基準	博士論文審査基準
理学院	数学コース	修士論文研究においては以下の2つの要件を満たさなければならない 1. 学位審査論文において、従来の研究と比較して新たな観点・知見・解釈が何らかの形で含まれていること。 2. 申請者が研究内容の意義・結果について十分に理解していることを、修士論文及び論文発表会において的確に示せること。	博士論文研究では次の二つの要件を満たさなければならない。 1. 学位審査論文の内容に十分な独自性があり、該当研究分野の進歩に寄与するものと認められること。 2. 学位申請者が主たる著者となっている論文(参考論文)が1編以上あること(ここでいう論文とは、原則として、査読付き国際学術誌に掲載あるいは受理されたものを指す)。
	物理学コース	1. 研究内容について 当該分野の進展に寄与する研究であること 2. 学位論文について 関連分野の概観について適切なレビューがあり、当該研究の位置づけが明確になされていること。	博士論文研究において、以下の学位審査基準を満たすこと。 1. 研究内容について 分野の進展に寄与する世界的水準の研究であること。 2. 学位論文について i) 関連分野の概観について広い読者を想定した適切なレビューがあり、当該研究の位置づけが明確であること。 ii) 英語で書かれていること。 iii) 学位取得者が主要な貢献をした原著論文が国際的な査読付き学術誌で出版されているか、出版が確定していること* *ただし、出版の手続き上時間を要するものについては、1年以内に論文が出版される見込みであれば本条件として認められる場合がある。
	化学コース	1. 修士学位論文は、化学の学術分野における新しい知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文であること。 2. 修士論文の内容を在学期間中に少なくとも一回、学会発表すること。	博士論文研究において、以下の学位審査基準を満たすこと。 1. 学位審査論文の内容に十分な独自性があり、化学の学術分野の進歩に寄与するものと認められること。 2. 博士論文の内容をサーキュレーションのよい査読付き学術誌に少なくとも1報掲載すること。原則として学位申請者がその論文の筆頭著者であることを要する。最終審査の段階においてその論文が掲載可とされている場合には、掲載されたものと同等とみなす。
	地球惑星科学コース	本課程の学位審査にあつては、以下を基準とする。 ・学位審査論文において、研究テーマにかかわる従来の研究を系統的かつ過不足なくレビューできていること。 ・学位審査論文に、従来の研究と比較して新たな観点、知見が何らかの形(手法、基礎データ等)で含まれていること。 ・申請者が研究内容の意義、結果について十分に理解していることを、学位審査論文及び論文発表会において的確に示せること。	本課程の学位審査にあつては、以下を基準とする。 ・学位審査論文の内容に十分なオリジナリティーがあり、該当研究分野の進歩に寄与すると認められること。 ・学位申請者が主たる著者となっている論文(参考論文)が1編以上あること(ここでいう論文とは、原則として査読付き国際学術誌に掲載または受理されたものを指す)。 ・国際的な研究交流に支障のない語学力を有すること。

学院	コース等	修士論文 / プロジェクトレポート(専門職学位課程) 審査基準	博士論文審査基準
工学院	機械コース	修士学位論文は、機械工学の学術分野における新しい知見を含むか、または機械工学関連技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、機械工学関連分野における新規性、独創性、及び十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	システム制御コース	修士学位論文は、システム制御学の学術分野における新しい知見を含むか、またはシステム制御技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、システム制御学の学術分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	電気電子コース	修士学位論文は、電気電子工学の学術分野における新しい知見を含むか、または電気電子技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。 なお、論文概要または修士論文は英文で執筆することとする。	博士学位論文は、電気電子工学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。 なお、博士の学位論文は、原則として英文で執筆することとする。
	情報通信コース	修士学位論文は、情報通信分野における学術的価値を持つ新しい知見、もしくは情報通信分野の発展に貢献する有用な知見を含む独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、情報通信分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	経営工学コース	修士学位論文は、経営工学・経済学の学術分野における新しい知見を含むか、または管理技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、経営工学・経済学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
物質理工学院	材料コース	修士学位論文は、材料科学および材料工学の学術分野における新しい知見を含むか、または材料技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。なお、論文概要は日本語若しくは英語で執筆することとする。	博士学位論文は、材料工学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。なお、課程博士の学位論文は、日本語若しくは英語で執筆することとするが、英文での執筆を推奨する。
	応用化学コース	修士学位論文は、応用化学の学術的、あるいは技術的発展に貢献する新しい知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、応用化学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文でなければならない。なお、課程博士の学位論文は、日本語もしくは英語で執筆することとする。
情報理工学院	数理・計算科学コース	修士学位論文は、数理科学／計算機科学分野における新しい知見を含むか、または同分野の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、数理科学／計算機科学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	情報工学コース	修士学位論文は、情報工学の学術分野における新しい知見を含むか、または情報工学技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、情報工学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文でなければならない。
生命理工学院	生命理工学コース	1)生命理工学分野において新規性・独創性のある観点や知見を含み、独自の考察を記述した自著の論文であること。 2)論文テーマに関わる従来の研究を系統的かつ過不足なくレビューできていること。 3)研究内容の結果と意義を十分に理解していること。 4)主要部分が生命理工学分野に関わる学会等で発表されたか、同等の水準をもつこと。	1)生命理工学分野において新規性・独創性があり、学術的に十分な価値をもつ自著の論文であること。 2)その主要部分が、国際的な査読付き学術誌に学位申請者を主たる著者として掲載されているか、または掲載が決定されていること。 3)学位申請者が国際的な研究の遂行に十分な語学能力を有すること。

学院	コース等	修士論文 / プロジェクトレポート(専門職学位課程) 審査基準	博士論文審査基準
環境・社会理工学院	建築学コース	修士学位論文は、建築学の学術分野における新しい知見を含むか、または建築技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	修士学位論文は、建築学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	土木工学コース	修士論文は、土木工学の学術分野における新しい知見を含むか、または土木技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。なお、論文概要は英文で執筆することとする。	修士学位論文は、土木工学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。なお、課程博士の学位論文は、英文で執筆することとする。
	地球環境共創コース	修士学位論文は、地球環境共創の学術分野における新しい知見を含むか、又は理学・工学技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	修士学位論文は、地球環境共創分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	社会・人間科学コース	<p>(内容) 新規性または独創性があり当該分野への新しい知見をもたらす内容を含むか、または研究の遂行に必要な基礎知識・理解力・問題設定能力、問題解決力等を証明する内容を含むこと。 (論文) 修士論文は、研究の経過報告でなく、得られた成果を体系的にまとめられた自著のものであり、以下が含まれる必要がある。 ・論文概要 ・研究の背景 ・研究の目的 ・本論文の構成と本論文の概要 ・各章の内容 ・新たに得られた研究成果 ・結論と残された課題 ・本論文に関する発表【(任意)論文、学会発表等を行った場合は論文の構成と関係付けて記述する。コース内で行われる研究構想発表・研究中間発表を除く。】 ・参考文献 なお、英文で書かれた論文概要を付すこととする。</p>	<p>(内容) ・新規性、独創性と、十分な理学的、工学的、あるいは、学術的価値を持ち、分野の進展に寄与する世界的水準の研究であること。 ・そのために、主要部分が学術論文誌等で公刊されているか、あるいは掲載が決定されていないか、あるいは掲載が決定されていないこと。 (論文) 博士論文は、以下について体系的に分かり易くまとめられていること。 ・研究の背景 ・研究の目的 ・本論文の構成と本論文の概要 ・各章の内容 ・新たに得られた研究成果 ・学問的・社会的な貢献 ・結論と残された課題 ・本論文に関する発表【論文、学会発表等について博士論文との関係性が分かるように記述する。】 ・参考文献</p>
	イノベーション科学コース	/	修士学位論文は、イノベーション科学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	技術経営専門職学位課程	プロジェクトレポートは、プロジェクトレポートならびに最終発表会におけるプレゼンテーションの結果に基づき、課程会議による審議を経て決定される。審査及び評価は、以下の評価軸に基づき行われる。 ・テーマ設定や研究課題の重要性 ・記述と表現の論理性と明瞭性 ・用いるデータや手続きの信頼性 ・得られた結果や主張の妥当性 ・これまでに得られている知見に対する新規性 ・価値の創出	/

学院	コース等	修士論文 / プロジェクトレポート(専門職学位課程) 審査基準	博士論文審査基準
複合系コース	エネルギーコース	修士学位論文は、エネルギーに関する学術的、あるいは技術的発展に貢献する新しい知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、エネルギー分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文でなければならない。なお、課程博士の学位論文は、日本語もしくは英語で執筆することとする。
	エンジニアリングデザインコース	修士学位論文は、エンジニアリングデザインの学術分野における新しい知見を含むか、または関連技術の発展や課題解決、未来の価値創造に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文等でなければならない。	博士学位論文は、エンジニアリングデザイン分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	ライフエンジニアリングコース	修士学位論文は、ライフエンジニアリングの学術分野における新しい知見を含むか、またはライフエンジニアリングの発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。なお、論文および論文概要は日本語もしくは英語で執筆することとする。	博士学位論文は、ライフエンジニアリング分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準にあること。なお、博士の学位論文は、日本語もしくは英語で執筆することとする。
	原子核工学コース	修士学位論文は、原子核工学の学術分野における新しい知見を含むか、または原子核工学技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。なお、論文概要は英文で執筆することとする。	博士学位論文は、原子核工学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	知能情報コース	修士学位論文は、知能情報学の学術分野における新しい知見を含むか、または知能情報技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、知能情報分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文でなければならない。
	都市・環境学コース	修士学位論文は、都市・環境学の学術分野における新しい知見を含むか、または同分野における技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。	博士学位論文は、都市・環境学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。
	地球生命コース	修士学位論文は、地球生命科の学術分野における新しい知見を含むか、または地球生命科の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。なお、論文および論文概要は日本語もしくは英語で執筆することとする。	博士学位論文は、地球生命科学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準にあること。なお、博士の学位論文は、英語で執筆することとする。